第五講　助動詞（接続）／「ず」

★【接続】（＝何形にくっつくか。＝上が何形か。）

（例）次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記しなさい。

（答ふ）べし。

（例）次の傍線部の活用形は何形？

読むべし。

（例）次の現代語訳は？

くるべきものなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

接続	助動詞
未然形	る・らる・す・さす・しむ・む・ず・むず・じ・まし・まほし
連用形	けり・き・つ・たり（完了）・ぬ・けむ・たし
終止形 ※ラ変型＝連体形	めり・らむ・らし・まじ・なり（伝聞推定）・べし
サ変**未**然形 **四段已**然形	り
体言・連体形	なり（断定）
体言	たり（断定）
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題〕

① 次の「なり」の意味をそれぞれ答えよ。

男もす**なる**[a]日記といふものを、女もしてみむとて、する**なり**[b]。

a＝

b＝

② 次の傍線部の意味と活用形を答えよ。

御妻（みめ）**たり**き。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記しなさい。

①　御契りや（深し）けむ、…

②　人知れず、うち泣か（る）ぬ。

③　映ら（ず）まし。

④　世を思し召されける（なり）べし。

⑤　いと口惜しと（思ふ）り。

⑥　さるべきにこそ（あり）め。

⑦　これより（過ぐ）させおはしますめり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部ａ・ｂの「来」の読みとして、正しいものを後の中から選べ。

「ここに参り[a]来べかりければこそと、…」
「参り[b]来むことのわりなかるべきこと」

ア　こ　　イ　き　　ウ　く　　エ　くる　　オ　くれ

ａ＝　　　ｂ＝

問三　「深く心得べきなり」の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ア行下二段活用動詞の連体形　　イ　ア行下二段活用動詞の終止形
ウ　ハ行下二段活用動詞の連体形　　エ　ハ行下二段活用動詞の終止形
オ　ワ行下二段活用動詞の連体形　　カ　ワ行下二段活用動詞の終止形

問四　「夫人の見けむ目のやうにはあらずとも…」の傍線部の活用の行、活用の種類、活用形をそれぞれ書け。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「山籠もりにて［　　］むを聞かむのみぞうれしかるべき。」の空欄に入る「おはす」の正しい活用形を、次の中から選べ。

ア　おはさ　　イ　おはし　　ウ　おはす　　エ　おはすれ　　オ　おはせ

問六　「大輔［　　］ましかば、恥がましかりける事かなとぞ、仰せられける。」の空欄には、「なし」の活用語が入る。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なし　　イ　なから　　ウ　なかり　　エ　なかる　　オ　なかれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ず

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	ず							特殊型
								＋　型

【意味】

①　打消（〜ない）

問七　「なかなか止まるべきにあらざれば、…」の傍線部の終止形を答えなさい。

問八　「忘れ［A］けり」の空欄Aにあてはまる「ず」の助動詞を、適切な活用形にして書きなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の空欄［A］・［B］には助動詞「ず」が入る。それぞれにふさわしい形を後の中から選べ。

「秀郷も後ろをかへりみ［A］、はるかに行き隔たりぬ。」
「夢も結ば［B］仮寝の枕、…」

ア　ず　　イ　ざり　　ウ　ぬ　　エ　ざれ　　オ　ね

A＝　　　B＝

問十　「心も又ひとしきものにあら［A］。」の空欄Aにあてはまる打ち消しの助動詞「ず」の活用形として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　ず　　イ　じ　　ウ　ざり　　エ　ざらむ　　オ　ざる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

①「さらに来じ」の傍線部の読みとして、正しいものを次の中から選べ。

ア　こ　イ　き　ウ　く　エ　くる　オ　くれ

②「たち代はりて参り来べきを、…」の傍線部の、Ａ活用の行、Ｂ活用の種類、Ｃ活用形は何か。最も適当なものを次の中からそれぞれ選べ。

Ａ　ア　ア行　イ　カ行　ウ　マ行　エ　ヤ行　オ　ラ行

Ｂ　ア　四段活用　イ　上一段活用　ウ　上二段活用　エ　下二段活用　オ　変格活用

Ｃ　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

Ａ＝　Ｂ＝　Ｃ＝

③「長々しき状までもいるべから［ａ］、これを持ちて近衛殿へ捧げよ」の空欄ａには助動詞「ず」が入る。正しく活用させた語を次の中から選べ。

ア　ざら　イ　ず　ウ　ざり　エ　ぬ　オ　ね

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　模範解答

〔例題〕　①　a　伝聞推定　b　断定　②　断定・連用形

問一　①　深かり　②　れ　③　ざら　④　なる
⑤　思へ　⑥　あら　⑦　過ぎ

問二　a　ウ　b　ア

問三　イ

問四　マ行・上一段活用・連用形

問五　オ

問六　イ

問七　ず

問八　ざり

問九　A　ア　B　ウ

問十　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　模範解答・解説

〔解説〕

① 「じ」の上は未然形。「来」はカ変動詞。カ変は「こ・き・く・くる・くれ・こ（よ）」と活用するので、正解はア。

② 「～来」はカ変動詞。傍線部下の「べき」＝「べし」で、「べし」の上は終止形である。

③ 空欄ａの下が「、」なので連用形にする。選択肢の中で連用形はイかウ。下が助動詞ではないから、正解はイ。

〔解答〕

① ア

② Ａ　イ　　Ｂ　オ　　Ｃ　ウ

③ イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。